

製品安全 データーシート

[混合物用 (塗料用)]

整理番号 809-042A

製造者情報	会社名	東日本塗料株式会社			
	住所	〒124-0006 東京都葛飾区堀切3丁目25番18号			
	担当部門	品質管理課	担当者	齋藤 盛一	
	電話番号	0480-65-1515	FAX番号	0480-65-5798	
	緊急連絡先	担当部門に同じ。		電話番号	担当部門に同じ。
	作成者	齋藤 盛一	制定日	平成12年12月15日	
		改定日			
製品の特定	製品名	フローンプライマー H A液			
	製品説明	種類 : エポキシ樹脂系下塗り塗料 主剤 (溶剤型) 主な用途 : 建築物床用			
物質の特定	成分及び含有量 (危険有害性物質を対象)				
		成分名	C a s No.	含有量	備 考
		トルエン	108-88-3	40	PRTR法1種対象、労安法MSDS対象
		キシレン	1330-20-7	5.5	PRTR法1種対象、労安法MSDS対象
		エポキシ樹脂(Aタイプ)(低分子量)	25068-38-6	49	PRTR法1種対象、労安法MSDS対象
		エチルベンゼン	100-41-4	5.5	PRTR法1種対象、労安法MSDS対象
危険有害性の分類	分類の名称	引火性液体・急性毒性物質・その他の有害性物質			
	危険有害性コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・非常に燃えやすい液体である。 ・有機溶剤中毒を起こす恐れがある。 ・変異原性の恐れがある。 ・アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、 取扱いを避けて下さい。(呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。) ・感作性の恐れがある物質を含有している。 			

応急措置	目に入った場合	<ul style="list-style-type: none"> ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。 まぶたの裏まで完全に洗うこと。 ・医師の診断を受けること。
	皮膚に付着した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・付着物を布にて素早くふき取る。 ・大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。 ・外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、医師の診断を受ける。
	吸入した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には、人工呼吸を行う。 嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当を受けること。 ・蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にして、医師の診断を受ける。
	飲み込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> ・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。 ・嘔吐物は飲み込ませないこと。
火災時の措置	使用可能 消火剤	<p>水 [×] , 炭酸ガス [○] , 泡 [○] , 粉末 [○]</p> <p>乾燥砂 [○] , その他 [</p>
	<p><u>消火方法</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水を消火に用いてはならない。 ・適切な保護具(耐熱着衣など)を使用する。 ・可燃性のものを周囲から速やかに取り除くこと。 	
漏出時の措置	<ul style="list-style-type: none"> ・付近の着火源、高温体及び可燃物を速やかに取り除く。 ・着火した場合に備えて、粉末又は泡消火器を準備する。 ・作業の際には適切な保護具(手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。 ・乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。 大量の流出には、盛り土で囲って流出を防止する。 ・流出物は密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。 ・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。 	
取扱・保管上の注意	<p><u>取扱上の注意</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・換気の良い場所で取り扱う。 ・容器はその都度密栓する。 ・周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 ・静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)のものとする。 ・工具は火花防止型のものを用いる。 ・皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。 ・取り扱い後は、手、顔等を良く洗い、休憩所などに手袋などの汚染保護具を持ち込まないこと。 ・使用済ウエス、塗料かす、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておく。 	
	<p><u>保管上の注意</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通風の良いところに保管する。 ・日光の直射を避ける。 ・火気、熱源から遠ざけて保管する。 	

暴露防止 措 置	設備対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 取り扱い設備は防爆型を使用する。 ・ 排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。 ・ 液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置についてはアースを取るよう設備すること。 ・ 取り扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれなような設備とする。 ・ 屋内作業の場合には、自動塗装機等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置などにより作業者が蒸発などの暴露を避けられるような設備とすること。 ・ タンク内部などの密閉場所で作業する場合には、密閉場所が、特に底部まで十分に換気出来る装置を取り付けること。 	
	保護具	呼吸系の保護 <ul style="list-style-type: none"> ・ 有機ガス用防毒マスクを着用する。 ・ 密閉された場所では、送気マスクを着用する。
		目の保護 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護メガネを着用する。
		皮膚の保護 <ul style="list-style-type: none"> ・ 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
		その他の保護具
製品の物理 化学的 性質	状 態	液体 [○] , 気体 [] 固体 : 固形状 [] , 粉末状 [] , ペースト状 [] 色 : 透明 臭気 : 溶剤臭
沸 点 : 110.6℃ 蒸気圧 : 2906 Pa (20℃)		
密度 (比重) : 1.02 pH値 (水性のものに対して) :		
その他 : 特になし		
危険性情報	製品 特数	引火点 : 10.0℃ 発火点 : 480℃
		爆発限界 : (下限) 1.27% (上限) 7.0%
	反応性 安定性	条件 (温度, 光等) 標準的条件では危険な反応しない。
		<u>接触により危険性のある物質</u> 酸、アルカリ、アミン類と反応する。
		<u>燃焼などによる有害性ガス発生</u> 特に情報を有していない。
<u>その他の反応性情報</u> 普通の条件での反応性はない。		
<u>その他の危険性情報</u> 特に情報を有していない。		

有害性情報	組成物質有害性及び暴露濃度基準				
	物質名	管理濃度	ACGIH(TLV)	IARC	その他有害性
	トルエン	50ppm	50ppm	3	LD ₅₀ 636mg/kg
	キシレン	100ppm	100ppm	—	LD ₅₀ 4,300mg/kg
	ポロキシ樹脂(Aタイプ)(低分子量)				感作性の恐れがある。 変異原性の恐れがある。
	エチルベンゼン	—	100ppm	—	LD ₅₀ 3,500mg/kg
	組成物質に関するその他の有害性情報				
	特に情報を有していない。				
	製品に関する有害性情報				
	製品としての安全性試験は行っていない。				
環境影響情報	漏洩時、廃棄などの際には注意を守ること。				
廃棄上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。 ・容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へ、そのまま流さないこと。 ・排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律 及び 関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。 				
輸送上の注意	<p>共通 : 取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。</p> <p>陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。</p> <p>海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従う。</p> <p>航空輸送 : 航空法に定めるところに従う。</p>				
適用法令	<p>労働安全衛生法 : 危険物(引火性の物)、有機則(第2種有機溶剤)</p> <p>消防法 : 第4類第1石油類(非水溶性)</p> <p>船舶安全法 : 中引火点引火性液体 クラス3-2 等級II</p>				
その他	<p>主な引用文献</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 日本塗料工業会編集 「原材料データベース」 2) 溶剤便覧 3) 危険防災救急要覧 4) 国際化学物質安全カード(ICSC) 				
[注 意] 危険性・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱には十分注意して下さい。					

製品安全 データーシート

[混合物用 (塗料用)]

整理番号 809-042B

製造者情報	会社名	東日本塗料株式会社			
	住所	〒124-0006 東京都葛飾区堀切3丁目25番18号			
	担当部門	品質管理課	担当者	齋藤 盛一	
	電話番号	0480-65-1515	FAX番号	0480-65-5798	
	緊急連絡先	担当部門に同じ。		電話番号	担当部門に同じ。
	作成者	齋藤 盛一	制定日	平成14年 3月26日	
		改定日			
製品の特定	製品名	フローン プライマー H B液			
	製品説明	種類 : エポキシ樹脂系下塗り塗料 硬化剤 (溶剤型) 主な用途 : 建築物床用			
質の特定	成分及び含有量 (危険有害性物質を対象)				
		成分名	C a s No.	含有量	備 考
		変性ポリアミン	68953-09-3	10~20	皮膚刺激性
		トルエン	108-88-3	50	PRTR法1種対象、 労安法MSDS対象
		キシレン	1330-20-7	3.7	PRTR法1種対象、 労安法MSDS対象
		イソブチルアルコール	78-83-1	20~30	労安法MSDS対象
		メタ キシレンジアミン	1477-55-0	1~10	労安法MSDS対象
		エチルベンゼン	100-41-4	3.7	PRTR法1種対象、 労安法MSDS対象
危険有害性の分類	分類の名称	引火性液体・急性毒性物質・その他の有害性物質			
	危険有害性コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・非常に燃えやすい液体である。 ・有機溶剤中毒を起こす恐れがある。 ・皮膚刺激性の恐れがある物質を含有している。 ・アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、 取扱いを避けて下さい。(呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。) 			

応急措置	目に入った場合	<ul style="list-style-type: none"> ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。 まぶたの裏まで完全に洗うこと。 ・医師の診断を受けること。
	皮膚に付着した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・付着物を布にて素早くふき取る。 ・大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。 ・外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、医師の診断を受ける。
	吸入した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には、人工呼吸を行う。 嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当を受けること。 ・蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にして、医師の診断を受ける。
	飲み込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> ・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。 ・嘔吐物は飲み込ませないこと。
火災時の措置	使用可能 消火剤	<p>水 [×] , 炭酸ガス [○] , 泡 [○] , 粉末 [○]</p> <p>乾燥砂 [○] , その他 [</p>
	<p><u>消火方法</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水を消火に用いてはならない。 ・適切な保護具(耐熱着衣など)を使用する。 ・可燃性のものを周囲から速やかに取り除くこと。 	
漏出時の措置	<ul style="list-style-type: none"> ・付近の着火源、高温体及び可燃物を速やかに取り除く。 ・着火した場合に備えて、粉末又は泡消火器を準備する。 ・作業の際には適切な保護具(手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。 ・乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。 大量の流出には、盛り土で囲って流出を防止する。 ・流出物は密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。 ・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。 	
取扱・保管上の注意	<p><u>取扱上の注意</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・換気の良い場所で取り扱う。 ・容器はその都度密栓する。 ・周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 ・静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)のものとする。 ・工具は火花防止型のものを用いる。 ・皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。 ・取り扱い後は、手、顔等を良く洗い、休憩所などに手袋などの汚染保護具を持ち込まないこと。 ・使用済ウエス、塗料かす、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておく。 	
	<p><u>保管上の注意</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通風の良いところに保管する。 ・日光の直射を避ける。 ・火気、熱源から遠ざけて保管する。 	

暴露防止 措 置	設備対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 取り扱い設備は防爆型を使用する。 ・ 排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。 ・ 液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置についてはアースを取るよう設備すること。 ・ 取り扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれぬような設備とする。 ・ 屋内作業の場合には、自動塗装機等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置などにより作業者が蒸発などの暴露を避けられるような設備とすること。 ・ タンク内部などの密閉場所で作業する場合には、密閉場所が、特に底部まで十分に換気出来る装置を取り付けること。 	
	保護具	呼吸系の保護 <ul style="list-style-type: none"> ・ 有機ガス用防毒マスクを着用する。 ・ 密閉された場所では、送気マスクを着用する。
		目の保護 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護メガネを着用する。
		皮膚の保護 <ul style="list-style-type: none"> ・ 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
		その他の保護具
製品の物理 化学的 性質	状 態	液体 [○] , 気体 [] 固体 : 固形状 [] , 粉末状 [] , ペースト状 [] 色 : 淡黄色透明 臭気 : 溶剤臭
沸 点 : 110.6℃ 蒸気圧 : 2906 Pa (20℃)		
密度 (比重) : 0.89 pH値 (水性のものに対して) :		
その他 : 特になし		
危険性情報	製品 特数	引火点 : 8.0℃ 発火点 : 430℃
		爆発限界 : (下限) 1.2% (上限) 10.9%
	反応性 安定性	条件 (温度, 光等) 標準的条件では危険な反応しない。
		<u>接触により危険性のある物質</u> 特に情報を有していない。
		<u>燃焼などによる有害性ガス発生</u> 特に情報を有していない。
<u>その他の反応性情報</u> 普通の条件での反応性はない。		
<u>その他の危険性情報</u> 特に情報を有していない。		

有害性情報	組成物質有害性及び暴露濃度基準				
	物質名	管理濃度	ACGIH(TLV)	IARC	その他有害性
	変性ポリアミン	——	——	——	皮膚刺激性の恐れ
	トルエン	50ppm	50ppm	3	LD ₅₀ 636mg/kg
	キシレン	100ppm	100ppm	3	LD ₅₀ 4,300mg/kg
	イソブチルアルコール	50ppm	50ppm	——	LD ₅₀ 2,460mg/kg
	メタ キシレンジアミン	——	——	——	LD ₅₀ 930mg/kg
	エチルベンゼン	——	100ppm	——	LD ₅₀ 3,500mg/kg
	組成物質に関するその他の有害性情報				
特に情報を有していない。					
製品に関する有害性情報					
製品としての安全性試験は行っていない。					
環境影響情報	漏洩時、廃棄などの際には注意を守ること。				
廃棄上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。 ・容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へ、そのまま流さないこと。 ・排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。 				
輸送上の注意	<p>共通： 取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。</p> <p>陸上輸送： 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。</p> <p>海上輸送： 船舶安全法に定めるところに従う。</p> <p>航空輸送： 航空法に定めるところに従う。</p>				
適用法令	<p>労働安全衛生法： 危険物（引火性の物）、有機則（第2種有機溶剤）</p> <p>消防法： 第4類第1石油類（非水溶性）</p> <p>船舶安全法： 低引火点引火性液体 クラス3-2 等級II</p>				
その他	<p>主な引用文献</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 日本塗料工業会編集 「原材料データベース」 2) 溶剤便覧 3) 危険防災救急要覧 4) 国際化学物質安全カード（ICSC） 				
[注 意] 危険性・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱には十分注意して下さい。					